



ゆり北

第95号 (9期第10号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話 03 (3938) 9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

自治会総会は四月二十六日

自治会第九期の活動もしめくくりの時期になりました。

第十期の総会は、四月二十六日(日)に赤塚新町小学校で行う予定で準備を進めています。

この一年間は、幹事の欠員が多く大変でしたが、反面自治委員・号棟世話人さんのご協力で多くの行事・事業が進みました。特に区の指定で取り組んだ毎月一回のクリーンゆり北デーの実施には、小学生から日曜清掃に引き続いて参加されたゆりの木会の皆さんなど毎回五十人〜二十人の方が参加されました。

また、会員の多くから要望の強い駐車場問題では、賃貸住宅で第二期工事が終わり、駐車場率が五割になりました。

こうした成果とともに引き続き取り組む課題も少なくありません。

団地全体のモラルの向上(ごみ・近隣騒音・迷惑駐車・ペットの飼育など)や熱供給の安定的な供給確保・工業用水管・バルブの破損問題。また賃貸住宅での家賃の引上げへの対応が有ります。

公団に要望事項を提出

自治会・住宅対策部では二月九日に団地の点検活動を行い、その結果をまとめ、住宅・都市整備公団・東京北営業所に「要望書」を提出しました。回答は四月の自治会総会までにもう予定です。

1. 廊下シートの張り替え
2. EV内に「防犯カメラ設置あり」のプレートを設置
3. 落書の清掃

今年は入居十年、自治会結成十年です。記念行事は平成五年に予定していますが、その準備を始めたと思います。皆様のご意見をおよせください。

役員ヤーイ

自治会役員は定数二十一名です。しかし今年は九名欠員、昨年は欠員三名(年度途中転居二名含む)でした。役員の数は、各号棟から洩れなく出るよう、大きな棟では複数出る



ように決められました。様々な会員の意見が反映されることを目指しています。また、大勢の役員がいることにより、一人一人の分担が少なくてすみます。

ゆりの木北自治会が、近隣の町会や光が丘の各団地から高い評価を受けているのは、こうした役員や自治委員・号棟世話人の制度に裏付けられています。

自治会活動に参加したことにより近隣との付き合いがスムーズに出来た、いろいろな人とのつながりが出来良かったというのが、経験者のご意見でした。

週休二日が普及するなかで、あなたの新しい時間を、このコミュニティに少し提供していただませんかでしょうか。

ゆり北は男の役員が多いのが特徴です。最近では女性も五〜六人になりました。生活に密着した事柄が多いので、女性の役員の活躍の場があります。ぜひ貴方のチャレンジを期待しています。自薦・他薦を問わずご協力をお願いします。

役員の選出の告示は別途お知らせします。

まで)に御連絡下さい。

十一号棟廊下シートは今年実施

廊下シートの張り替え(フンスリップ化)について、公団から十一号棟については今年度実施、十二・十三・十四号棟については来年度実施するとの連絡がありました。詳細は別途お知らせします。

贈ることば

人はみな吾が師 物みな吾が師

赤塚新町小学校
第八回卒業生担任

卒業おめでとう。堂々と母校を巣立っていった九十八名の卒業生のみなさん、ほんとうにおめでとう。卒業していった皆さんに、お別れの言葉を贈ります。

それは「人はみな吾が師、物みな吾が師なり」ということです。人生は、全て勉強です。学校に通うことや、本を読むことだけが勉強ではありません。食べること、遊ぶこと、物を買うこと全てが勉強であり、学習です。

例えば、遊びを例にとっても、面白く遊ぶため、相手に勝つためには、その遊びのルールを学び、研究しなくてはなりません。

この場合友達や先輩、あるいは家の人々に聞いたり、本を読んだりして教わるはずですが。

こうして考えてみると、自分にとって「人はだれでもが先生であり、人ばかりでなく、物でさえも自分が生きていくのにいろいろなことを考えさせ教えてくれる先生」だということになります。

よく考えてみると、本当に私たちのまわりにいる人、まわりにあるものの全てがそうです。「人みな吾が師、物みな吾が師」です。

こういう気持ちで人に接し、物に接するとき、学習の力が身につけてきます。そして、自然を大切にし、人を大切にし、物を大事にする気持ちがあふれてくるものです。人間の成長、進歩のためには「学ぶ心」が

お花見四月五日

光が丘公園・芝生広場角

恒例の自治会主催お花見会を行います。昨年は残念ながら雨で中止となりました。今年は暖冬で早目の開花予想ですが、散る桜を愛でるのもよしとしましょう。

場所は、ゆり北側の入り口から桜並木を真っ直ぐ芝生広場に出て、桜の林のなかです。紅白幕・自治会の旗(グリーンゆり北マーク)が目印です。

時間は、早朝より場所取りをしますのでご自由においで下さい。自治会や若手の飲み物・食べ物を用意します。ご家庭の味をご持参で気軽にお出掛け下さい。ノミニュケーションもコミュニケーションのひとつです。



ふれあいの心地良さ

十号棟 粕谷卓志

優しい顔があった。和やかな顔があった。その中にいた私も、おかげでさわやかな思いをさせていただいた。

「ゆり北」に移り住んで九年、初めて号棟の「新年会」に参加しました。これまで、忙しさにかまけて、住民としての貢献はゼロに等しかったのですが、今年は管理組合の理事をしていることもあって、妻と末っ子の三人で会場の新町公園集会所の門をくぐりました。

一世帯一品が持ち寄られたテーブルは、ほのぼのとして温かさが伝わってきていました。ふだん、会社の仲間とする新年会とはもちろん、親しい友人とのホームパーティーともひと味違う温かさでした。

それぞれの自己紹介を聞きながら何度か顔は合せているのに「この人が〇さん」などといまさら確認する自分を恥じるばかりでした。考えてみれば、この九年、同じ屋根の

私は浅草千束町生れの江戸っ子ですが、関東大震災に逢い、王子・十條と移り、昭和二年に宇都宮で小学校を卒業しました。

今では、宇都宮は大きな地方都市になりましたが、当時は県庁所在地

下に百世帯以上が住んでいるのに、子供同士が親しい方を除いては、エレベーターで乗り合わせてあいさつするくらいのお付き合いしかしていませんでした。

子供のころ、私が育った東京でも家に隣のおばさんがお茶を飲みにしじゅう来ていました。近所のおじさんが将棋の駒持参でやってきて、日なたで父と将棋を指していました。

まだ、テレビが普及していません。ろは、近所の子供たちがテレビのある家に集まってわいわい騒ぐ。いたずらをした子供に、我が子でなくともしかりとばす豪快な「おじさん」が何人もいました。祭りになれば、お父さんたちは揃いの浴衣を着て神輿(みこし)つぐりに精を出し、繰り出す神輿やだしの先導を務めていました。

人付き合いはいいほうだ、と自分では思っていたのに、いざ父親になつてみると、「豪快なおじさん」に

なるのはなかなか難しい。隣のお宅に「こんにちは」といつてお茶を飲むのもそう気軽にできない自分に改めて「これじゃいかんかな」と思うのです。

「新年会」のあと、何人かのお父さんたちと、二次会と称して近くのカラオケボックスにでかけました。近所の方々と行くのも、これまた初めての経験でしたが、楽しいひとときでした。



新年会で得た「ふれあいの心地よさ」を何かの形で役立てたいと思っています。

八幡山という小高い丘で、私の家の裏は、一面の田畑で春になるとピンクのジュウタンを敷きつめた様にレングが咲き乱れ、其の中を一日中飛び廻って遊んだものでした。裏の原っぱで一時間もすれば野ゼリが大きな

ザルに一杯とれ、小川に夕方網を仕掛けて置けば、翌朝、小鮒やドジョウが数匹入って居り夕飯の食卓を賑わしてくれました。

五号棟 村上行夫

龍月夜

とはいへ東京から四時間も五時間もかかる様な所でした。まして私の居りました所は、市のはずれで、百米も行きますと、大曾村で、まだト馬車が通って居りました。表通りですが、向うの家の裏は、

蛙の鳴き声が聞こえ、夜になると家の中にまで螢が飛んで来る様な本

当に長閑な所です。裸電球の外燈が所々薄ボンヤリと立って居るだけで、夜などはこわくて一人歩きなどできない様な本当に淋しい所でした。近くに赤い山門があるので、私達は赤門と呼んで居りますが、其の慈光寺の鐘が鳴る頃、遠くの山の上にポツカリと大きな月が昇り、私の通った学校の屋根が、墨絵の様に浮かび上り、本当に童謡の「龍月夜」そのままの風景でした。ですから「龍月夜」の歌が大好きで此の歌を聞きますと、其の頃の事が思い出され、此のレコードを時々かけては当時の思い出にひたって居ります。

リサイクルアンケート中間報告

ゆり北厚生部

リサイクルについてのアンケートを行ないました。

1992. 3. 15

厚生部でリサイクル交流会を3月15日に開くにあたって、基礎データを得るために行ないました。方法は無記名、作為抽出、各号棟10世帯の1の割合で80世帯、対象は役員・自治委員・世話人、その経験者および準ずる人に用紙を配布。期間は3月1～8日、郵便ポストに自主的に届けてもらいました。回収は、12(回収率は15%)でした。ご協力ありがとうございました。

アンケート結果 (集計は3月11日)

1. いま、リサイクルに協力していることは、なんですか。	無回答	0	
A. ゆりの木会のアルミかん	11	B. 電気屋さんの電池	0
C. 保育園前の牛乳パック	5	D. 保育園前の乾電池	7
E. 小学校の牛乳パック	1	F. 小学校の乾電池	1
G. よしや前の牛乳パック	2	H. よしや前のトレー	5
I. 酒屋さんのびん	6	J. 生協の牛乳パックなど	3
K. 業者の古新聞	11	L. 廃油をせっけんに	0
M. 障害者団体などへの協力	1		

◆さすがアルミかんはほぼ全員が行っており、古紙回収は日本は世界でトップで約5割といわれますが、高い結果が出ています。牛乳パックは持っていき先が決まっています。2箇所へというのは2ありました。買ったところへ返すのがいいのですが。乾電池は、問題になっていることは知っていても出す場所がなかったことの反映でしょうか、よく利用されています。小学校の利用が低いのは、動線からはずれないからと思われる。

2. その他、やっていることがあれば、おしえてください。

無回答 11

◆デポジット(預かり保証金)制度は、容器の代金も含めて買い、あきかん／びんをあとで持っていきとその分が返金されるもので、ものを粗末にしないためにも、資源回収のためにもよい方法といわれますが、普及は今ひとつ。

3. 回収後の処理方法の、リサイクルのルートを知っていますか。				無回答	2
A. 生ごみ	8	B. 分別ごみ	8	C. 粗大ごみ	5
D. 牛乳パック	8	E. 乾電池	4	F. びん	5
G. 古紙	9	H. アルミかん	7		

◆答えにくい質問でしたが、かなり高い数字が出ています。よく行っているものの数字は高く、やっていない乾電池・びんが比較すると低くなっています。全部知っているのは、3ありました。乾電池の処理場は日本に1箇所しかありません。アルミかんはまたアルミにもどして再生産されますが、古新聞はもう新品の紙とはならず、トイレットペーパーなどになって市場に出回っています。再生紙は、木を切り倒してつくるものより値段が高いのが現状です。生ごみを焼却した熱を利用して、私たちの町では温水供給が行なわれています。あきびんは、色分け回収でないとリサイクルできません。

4. ごみの出し方について、おうかがいします。	無回答	1	
A. 燃える、燃えないの分別をしている	ハイ	10	イエエ 1
B. 出す日は回収の日に合わせている	ハイ	3	イエエ 8
C. うちのごみの量は多い	ハイ	5	イエエ 6
D. うちから出すごみの量は減らせる	ハイ	6	イエエ 4

◆「ゆり北」で、清掃局の方の「ごみの分別をもっときちんと」という記事がありましたので、聞いてみました。

分別態度は100%よいとは言えないようです。置場がだらしなくなりがちの「出す日」を守っている人がちゃんといます。「減らせる」の少ないことが注目されますが、過剰包装問題など、個人でできることばかりではないように思われます。リサイクル(原料にもどして再生産)と並んでリユースもすすめられますが、回収システムがないけれど、どうしているのでしょうか……。

5. いらないなくなったものでも、すぐごみに出さず、人にあげたり譲ったりして使い直し(リユース……再利用)をここがけていますか。

ハイ	10	イエ	1	無回答	1
ハイとこたえた方、それはどんなものが多いですか。					
A. 本	5	B. 衣服	9	C. 家具	1
D. 学校で使うもの	2	E. その他	1		

6. これについてはゆりの木北団地できりくんでほしい、と思うものはなんですか。

あきびんのリサイクルを。
古本・家具のリサイクルを。
「ゆり北」にリサイクル交換情報コーナーを。
譲ります譲ってください伝言板を。
リサイクルの情報交換。
廃油をせっけんに。
ごみのより細かな分別周知・資源回収

◆リユースは高い数字が出たと思います。その相手や、種類ももっと広がるといいなと考えていることがわかりました。古本のバザーを夏祭りに行いました。まちぐるみの使い回しが定着するといいと思います。ただし、それでも残ってしまったものの行き場をつくることも必要です。年1回以上は大変だと思います。情報交換の場をつくることについては、役員のなかで、「ゆり北」では遅いのではないかと、たうん誌でやっているの十分か、壁新聞(ポスター)方式で月1回なりだしてはどうか、環境部のほうで考えてみる、などの意見があり、まだ具体化していません。なお、リサイクル協同組合を通して広域のネットワークにアクセスすることも可能です。さて、労力の提供ではどうか、見てみます。

7. 次のものに参加したいと思いますか。

回答	9	無回答	3
A. バザーの品物提供	4	B. フリーマーケット(がらくた市)の出店	3
C. おそうじ行動	7	D. 集団回収作業のボランティア	4

◆行動に参加しようという割合は高く出ました。無償提供のバザーと還元のある「がらくた市」とで分かれ、両方というのは1でした。バザーは小学校の例があり、フリーマーケットは光が丘清掃工場を会場に行われましたし、ガレージセールが先頃ゆり東で取り組まれました。毎月行なっているクリーンゆり北(朝のお掃除)は年末大掃除とともに高く評価され、定着していることがうかがえます。Dが0ではないことに注目を、ゆりの木会の活動がよいお手本になっていると思われます。

8. ひとこと言いたいこと……ひとつ聞きたいことがあれば……。

クリーンゆり北の継続を、ごみ等の環境を現時点でとらえられるので、回収物がきちんとリサイクルされるためのシステムが早く確立してほしい。

◆まとめ
アンケートの回収率は意外によくありませんでしたが、役員・自治委員が中心の回答ですから、町の方向を示す一面があると思います。ゆりの木北団地の1%ほどに聞いたことになり、全体を反映したものとはいえないのが残念です。回収システムのあるものへの参加は積極的で、出したあとのことは知らんというのではなく、処理ルートについての知識ももっています。使い捨てはなげないと考え、使い回しも行なっていますが、もっと輪を広げたいと考えています。環境をよくするための活動には積極的に参加したいと思っており、だれもが地道なお掃除は大切な行動と位置付け、やはり続けようと考えています。さて、この結果は、あなたと同じでしたでしょうか？

編集後記

五haに二千数百人がひしめき合った団地生活は、何もしなければ、混乱と混沌を招くは必然的です。お互いに摩擦の無い訳がない。頼れるものは、各自の社会性のみである。昭和五十八年の第一号の「ゆり北」

の中で黒田隆宣氏(初代ゆり北自治会長)は、住民の敵は、住民である。と指摘していました。

四月は、自治会の役員、委員、世話役の改選です。あなたも、今年こそどうですか。

